



第20期 中間株主通信

2021年4月1日～2021年9月30日

株式会社 駅探
証券コード：3646



トップインタビュー



えきたん

株主の皆様、初めまして！

私は、株式会社駅探のキャラクター、「えきたん」と申します。以前から株主の皆様には、株主通信の表紙でおなじみのことと思います。今回の株主通信のインタビューは、私「えきたん」が皆様を代表してインタビュアーを務めさせていただきます。株主の皆様ならびに金田社長よろしくお願いします。

「えきたん」よろしくお願いします。

我が社の人気キャラクターとして、また乗換案内「駅探.com」のアイコンとしていつも大活躍してくれてありがとうございます。本日は、少し緊張しますがよろしくお願いします。



代表取締役社長
金田 直之

Q

まず初めに、上半期の主なトピックスからご説明ください！

A

はい、上半期の主なトピックスは**4つ**あります。

一つ目は、4月に株式会社サークアを子会社化しました。二つ目は、5月に中期経営計画を発表しました。三つ目は、7月に新APIサービス「ここから何分以内検索API」の提供を開始しました。四つ目は、8月に株式会社Bold Investmentが株式保有割合30.85%の筆頭株主になり資本業務提携を締結しました。

2022年3月期第2四半期決算概要

Q

次に、2022年3月期第2四半期の決算概要のご説明をお願いします。

A

はい、2022年3月期第2四半期は、おかげさまで大幅な増収増益を達成することができました。

売上高は、1,549百万円（前年同四半期比53.4%増）、営業利益は、63百万円（前年同四半期比31.5%増）、経常利益は、63百万円（前年同四半期比2.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。また当期より、EBITDAを業績指標に採用しており、第2四半期のEBITDAは155百万円（前年同四半期比105.4%増）と大幅な増加となりました。

売上高	EBITDA	営業利益
53.4%	105.4%	31.5%
増加	増加	増加

売上高53.4%増加、EBITDAは105.4%増加、営業利益も31.5%増加と大幅に増収増益を達成したのですね。おめでとうございます！

ありがとうございます。社員の皆さんやお取引先皆様が頑張ってくれたおかげです。増収増益の主な要因は、2021年4月1日に株式会社サークアを連結子会社化したことが売上高に大きく寄与しています。また、前期に発生していた株主総会対策に係る一時的な費用の発生が当期はなかったことも増益の要因となっています。

Q

では、続いて事業セグメントごとにご説明をお願いします。

A

はい、当社は2つの事業セグメント、モビリティサポート事業と広告配信プラットフォーム事業があります。

では、事業セグメントごとの業績をご説明します。

一つ目のモビリティサポート事業は、新型コロナウイルス感染症の影響による新規有料会員獲得の減少や出張に関連するサービスの利用低下により減収となりました。

一方利益面では、前期下期から実施しておりましたプロモーションの見直しを上半期においても継続的に取り組んだことに加え、株式会社ラテラ・インターナショナルにおけるコスト削減施策が奏功し、増益。

この結果、売上高は818百万円（前年同四半期比18.9%減）、EBITDAは315百万円（前年同四半期比5.5%増）、セグメント利益は282百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

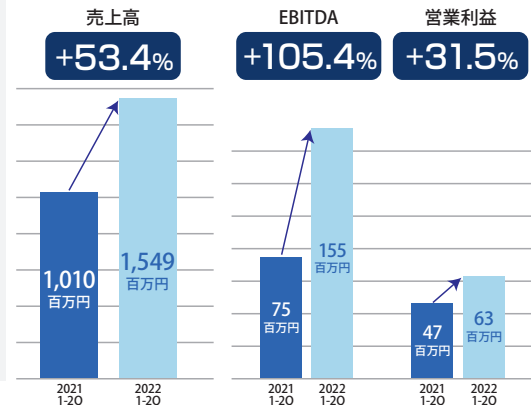
次に二つ目のセグメント、広告配信プラットフォーム事業の売上高は730百万円、EBITDAは24百万円、セグメント利益は▲22百万円となりました。要因といたしましては、薬機法改正の影響があったものの、業績は計画通りに推移しましたが、のれん等の償却費計上のため、セグメント利益はマイナスとなりました。

今後は、地域マーケティングプラットフォームへの貢献を加速していきます。

ここで補足ですが、広告配信プラットフォーム事業セグメントは2021年4月1日付で広告配信機能を持つ株式会社サークアの全株式を取得し完全子会社化したことに伴い、新たに追加したセグメントであり、上半期に発生した金額のみお伝えしています。

2022年3月期第2四半期

大幅な増収増益を達成



Q 大幅な増収増益で素晴らしいですね。次に今期の施策の進捗状況を教えてください。

A はい、今期は主に**6つの施策**に取り組んでいます。

まず一つ目は、先ほどもお伝えしましたが、4月1日に株式会社サークアの子会社化により広告配信機能を獲得しました。二つ目は、アプリのリニューアルやサイトの改修、SEO 対応に取り組んでいます。三つ目は、法人向けサービスの深耕です。現行API販売の強化や新データ生成サービスの開発を行っています。四つ目は、「パーティカルメディア」の構築です。これは中期経営計画の柱となる取り組みで10月28日に脱毛サイトをオープンしました。2022年6月までに5カテゴリー程度を構築する予定です。五つ目は、「駅ごと広告」の販売開始です。交通広告代理店などをあたり、現在1社との販売実績が出ています。最後は、MaaSパッケージの開発です。未来シェア社、サツドラ社との取り組み実施後パッケージ化し、各地方自治体へ拡販していく予定です。

様々な施策も順調に推移しているといったところでしょうか。ところで、株式会社サークア（以下サークア）を2021年4月に連結子会社化したのですが、なぜサークアを子会社化したのですか？

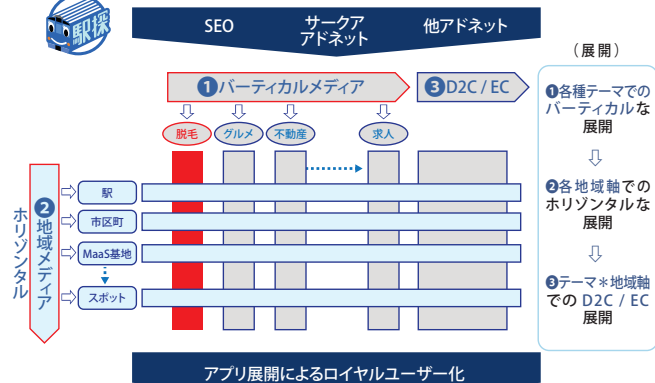
これはいい質問ですね。サークアが子会社となったおかげで、「駅探」グループは広告配信機能を取得することができたので、収益の拡大と経路検索のユーザーデータ活用事業の展開が期待されます。サークアの特徴は、スマートフォン向け広告配信システムを開発・運用している会社で、AI/機械学習エンジニアにて、独自アルゴリズム・ターゲティング技術を有しています。月間インプレッション数は50～80億もあり、女性ユーザー向けでは最大規模の会社です。

つまり、サークアはAIを駆使した独自の広告配信技術があって、効果的で効率的な広告配信サービスを行う会社ってことですね？

わかりやすく言うとそういうことです。またサークアが子会社になったおかげで、駅探グループは今後拡大が見込まれるアドテクノロジーの領域にも進出することが可能となり、これまでにない事業領域の獲得でグループ全体の事業領域が強化されました。

なるほど！サークアを通じて新たな成長マーケットへ進出する駅探グループ！そして、女性ユーザー向けに最大規模ってことは、女性向けマーケティングがよくわかっている会社ということですね。

そうです！また、女性向けの広告配信に長けているという点もかなり重要なポイントです。



2022年3月期業績予想

Q

引き続き、今期（2022年3月期）の通期業績予想を教えてください。

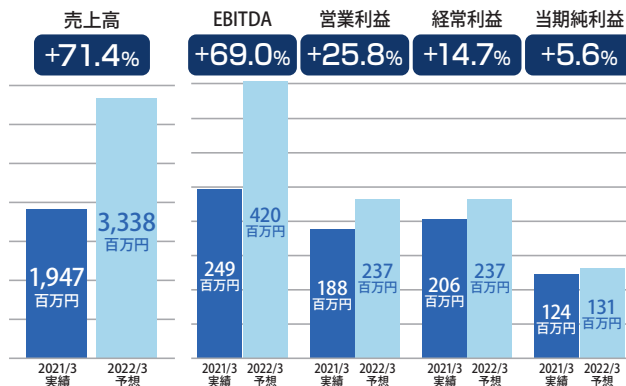
A

はい、2022年3月期の通期業績予想は、**大幅な増収増益**を予想しています。

売上高は対前年比71.4%増加の3,338百万円、EBITDAは69.0%増加の420百万円、営業利益は、25.8%増加の237百万円、経常利益は14.7%増加の237百万円、当期純利益は、5.6%増加の131百万円の予想です。

大幅な増収増益

予想



中期経営計画について

Q

ところで、中期経営計画を5月11日に発表されていますが、ご説明いただけますか？

A

はい、今年の5月に発表した中期経営計画で駅探の事業モデルの転換を発表しています。これまでの「乗換案内」から「**地域マーケティングプラットフォーム**」になるということの宣言です。

「地域マーケティングプラットフォーム」とはなんでしょうか？

はい、その前に、「えきタン」に質問です。「駅探」の意味を知っていますか？

到着したい駅までの行き方を探してくれる案内サービスだから、「駅探」ですよね？

実は、「えきタン」と同じように、多くの方が勘違いしているのです。そもそも、駅探は、「駅前探検倶楽部」の短縮系なのです。

「駅前探検倶楽部」なんですね。

駅前を探検するように、地域のサービスや情報を提供し、社会の役に立とうという思いで約20年前にサービスが開始されたのが「駅探」です。つまり、乗換案内サービスはそのコンセプトの一部として提供されてきたのです。



From the
Stations

駅から始めよう

駅探は、「人々の移動を、より安全で、安心で、楽しくしていくことを実現しよう」という思いのもと、原点回帰をいたします。

今回の中期経営計画のコンセプトは、「From the Stations ~駅から始めよう」です。「駅」を基点にして、人々の生活支援と事業者のマーケティング支援を行うこと、つまり、「乗換案内」の先にある、ユーザーの利用目的・NEXTアクションをサポートしていく企業になるということです。

従来の経路検索サービスのみにとどまらず、「駅」を基点として、「地域の生活者のニーズ」と「地域の事業者の提供サービス」とを結びつけていく役割を果たす地域マーケティングプラットフォームの構築を推進しています。そして地域事業者の広告・販促プラットフォームとして、EC展開／MaaS支援までを提供していきたいと考えています。

Q 中期経営計画での各事業の展開イメージをご説明ください。

A 従来の乗り換え案内事業は、コモディティ化・無料化により縮小を想定しています。

一方で、株式会社サークアを中心に今後も成長が見込まれるインターネット広告市場で安定成長を図ります。地域マーケティングプラットフォームにおいては、高粗利のメディア広告収益を主とし、今後の利益ドライバー事業としての展開を図ります。既存メディアについても、メディア収益拡大を図ります。併せて、広告バリューチェーンに関連した新規M&Aを実施し、グループ全体の強化を図ってまいります。

Q 数値計画をご説明ください。

A 計画初年度の2022年3月期は、株式会社サークアの子会社化に伴い、売上高・収益増加を見込んでいます。地域マーケティングプラットフォームは、立ち上げフェーズとなります。

計画期間3年目の2024年3月期は、売上高 59億円、EBITDA 8億円、営業利益 5億円を目指します。高粗利のメディア広告収益を主とする地域マーケティングプラットフォームが収益に貢献していくと考えています。

Q 「地域マーケティングプラットフォーム」を実現していくための具体的な戦略を教えてください。

A はい、「地域マーケティングプラットフォーム」を実現するために、まずはパーティカルメディア構想を掲げており、不動産・飲食・美容・歯科クリニック・パーソナルジム等の特定ジャンルを中心に、「駅」を基点とした来訪型店舗・サービスの情報を収集し、地域の生活者が比較・検討出来るサービスの提供を開始いたします。

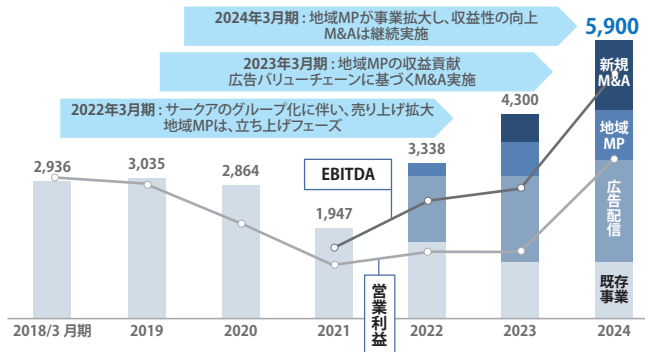
今回、パーティカルメディア「駅探PICKS(ピックス)」サービスを開始しました。サービス開始時は「脱毛サービス」ジャンルを展開し、今後継続的に多数の特定ジャンル商材・サービスを追加していく予定です。

From the Stations ~駅から始めよう~

「駅」を基点にして、人々の生活支援と事業者のマーケティング支援を行う



「乗換案内」の先にある、ユーザーの利用目的・NEXTアクションをサポート



今後のパーティカルメディア構想「駅探PICKS(ピックス)」の展開が楽しみです。金田社長、お忙しい中ご説明ありがとうございました。



財務諸表

四半期連結貸借対照表(要約) (単位: 千円)

	前連結会計年度 2021年3月31日現在	当第2四半期 連結累計期間 2021年9月30日現在
【資産の部】		
流動資産	2,864,778	2,295,159
固定資産	415,406	1,146,772
有形固定資産	94,160	83,836
無形固定資産	157,621	977,213
投資その他の資産	163,624	85,722
資産合計	3,280,185	3,441,931
【負債の部】		
流動負債	261,223	338,606
固定負債	183,092	314,449
負債合計	444,316	653,056
【純資産の部】		
株主資本	2,835,868	2,788,874
資本金	291,956	291,956
資本剰余金	293,531	293,531
利益剰余金	2,923,598	2,876,603
自己株式	△673,216	△673,216
純資産合計	2,835,868	2,788,874
負債純資産合計	3,280,185	3,441,931

連結キャッシュ・フロー計算書(要約) (単位: 千円)

	前第2四半期 連結累計期間 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,636	207,146
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 33,872	▲ 727,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 32,700	▲ 77,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,403,260	1,987,103

四半期連結損益計算書(要約) (単位: 千円)

	前第2四半期 連結累計期間 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
売上	1,010,089	1,549,014
売上原価	401,009	1,032,161
売上総利益	609,079	516,853
販売費及び一般管理費	561,176	453,851
営業利益	47,903	63,002
営業外収益	14,658	1,580
営業外費用	308	640
経常利益	62,254	63,942
特別利益	-	-
特別損失	0	188
税金等調整前四半期純利益	62,254	63,753
法人税等	36,517	33,612
四半期純利益	25,737	30,141
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,737	30,141

業績予想

2022年3月期におきましては、2021年4月1日に子会社化した株式会社サークアの事業貢献、中期経営計画に基づく当社の事業資産を活用した駅探.comを中心とするWebメディアの効果により、売上高3,338百万円、営業利益237百万円、当期純利益131百万円を通期業績予想としております。

会社概要・株式の状況

会社概要

(2021年9月30日現在)

商 号 株式会社 駅探 (Ekitan & Co.,Ltd.)

資 本 金 291百万円

上場証券取引所 東京証券取引所マザーズ

所 在 地 〒102-0083

東京都千代田区麹町五丁目4番地

主 な 事 業 内 容 1.インターネットを利用した情報提供サービス業
ならびに情報処理サービス業
2.コンピュータを利用した、ソフトウェア・ホーム
ページ等の企画・開発・デザイン・制作・販売
3.情報提供サービス・情報処理サービスに関する
調査ならびにコンサルティング業務

役 員 代 表 取 締 役 社 長 金 田 直 之
取 締 役 奥 津 浩 一
取 締 役 小 柳 智 晃
取 締 役 亀 本 圭 志
取 締 役 松 澤 好 隆
取 締 役 (非 常 勤) 森 田 幸 史 (社外取締役)
取 締 役 (非 常 勤) 松 舘 渉 (社外取締役)
監 査 役 (常 勤) 竹 谷 敬 治 (社外監査役)
監 査 役 (非 常 勤) 岡 田 務 (社外監査役)
監 査 役 (非 常 勤) 内 田 満 之 (社外監査役)

株式の状況

(2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 25,635,200株

発行済株式の総数 5,509,684株

(自己株式1,309,116株を除く)

株 主 数 4,079名

大株主(上位10名)

株 主 名	持株数	持株比率
株式会社Bold Investment	1,700,000	30.85%
パイオニア株式会社	588,000	10.67%
神 原 伸 夫	200,000	3.63%
株 式 会 社 ぐ る な び	158,200	2.87%
株 式 会 社 S B I 証 券	142,281	2.58%
楽 天 証 券 株 式 会 社	137,700	2.50%
小 田 昌 平	72,400	1.31%
一 般 社 団 法 人 V I P	70,000	1.27%
a u カ ブ コ ム 証 券 株 式 会 社	68,000	1.23%
J.P. MORGAN SECURITIES PLC	65,000	1.18%

(注)当社は、自己株式を1,309,116株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
余剰金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)

定 時 株 主 総 会 毎年6月下旬

株 主 名 義 管 理 人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

(電 話 照 会 先) 0120-782-031(フリーダイヤル)

郵 便 物 送 付 先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

公 告 の 方 法 電子広告により行う

[公告掲載URL] <https://ekitan.co.jp/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式会社 馬探

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5 丁目 4 番地
電話：03-6367-5951

